

問 LRTの整備による道路交通への影響は？

答 宇都宮市境から管理センター前交差点までの県道部は、交差点付近や停留場付近を拡幅することで、現在の4車線を維持します。

また、LRTの工事期間中については、道路の改良を先行しながら交通への影響が最小限となるよう取り組んでいきます。

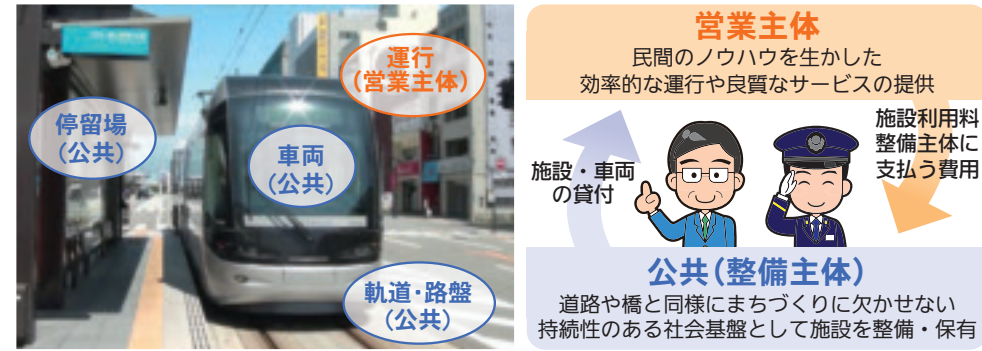
期券としての機能を備えたカードであり、1枚のカードでLRTやバスなどの公共交通を、スムーズに乗り継ぐことができるようになります。

今後は、他の公共交通との乗り継ぎ割引などのサービスの提供に向け、検討を進めていきます。



▲交通ICカードの利用イメージ

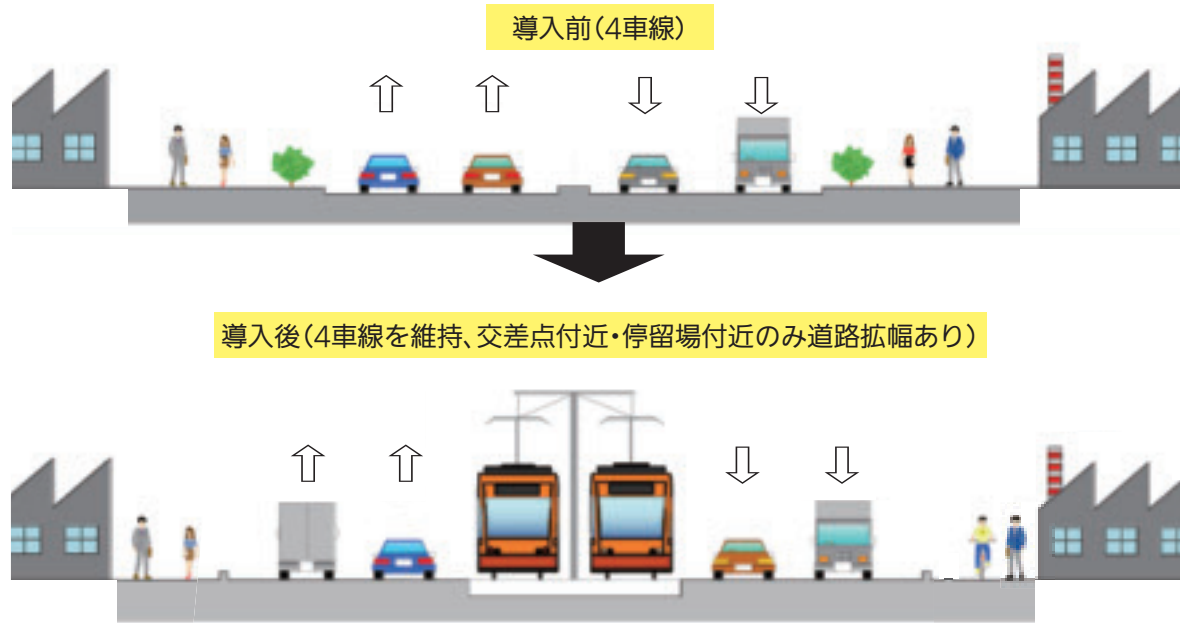
公設型上下分離方式のイメージ



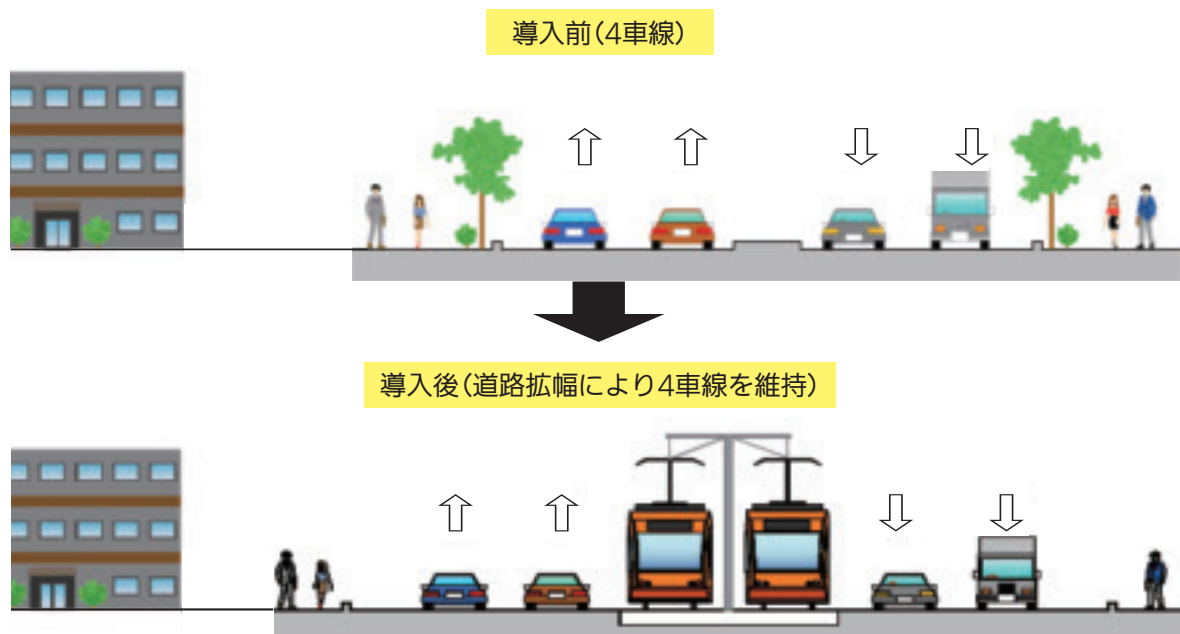
▲富山市

LRT事業は「公設型上下分離方式」で運営することから、整備主体(下)を担う本町及び宇都宮市が軌道や停留場などの施設や車両などを整備・保有し、宇都宮ライトレール株式会社が営業主体(上)として運営を担います。

①宇都宮市境～管理センター前交差点(県道部)



②管理センター前交差点～本田技術研究所北門付近(町道部)



芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画の策定

本町と宇都宮市では、産業拠点の維持・向上や公共交通空白・不便地域の解消などの課題解決に効果的かつ重点的に取り組むため、平成27年11月に「芳賀・宇都宮東部地域公共交通網形成計画」を策定しました。この計画では、基幹公共交通としてのLRT整備とともに、当該地域のバスネットワークの再編や、乗り換えの拠点となるトランジットセンターの整備、交通ICカードの導入による利便性の向上などの事業を掲げています。これらの事業を確実に進めることによって、利便性の高い公共交通ネットワークの形成に向け取り組んでいきます。

現在の取組

平成28年1月に、LRT事業の整備や運営に必要な軌道事業の特許を取得するため、「軌道運送高度化実施計画」を取りまとめ、国に認定申請を行いました。また、LRT整備にかかる都市計画決定に向けた手続きを開始したところです。

今後は、工事施行認可の申請や車両の設計認可の申請などに向けた取り組みを進めていきます。

また、住民の皆様はLRTの導入イメージを分かりやすくお伝えできるよう、説明用動画の作成を予定しており、引き続きLRT事業の進捗状況については地区座談会などの説明会や芳賀チャンネルなどを通じて皆様にお知らせしていきます。

問 LRTに関するよくある質問と回答

問 LRTの利用者数と運営収支の見込みはどれくらいなの？

答 利用者数は「県央広域都市圏生活行動実態調査」結果などから、平日1日当たり1万6318人と推計しています。運営収支は運営が本格化する開業2年目から単年度で黒字を計上する見込みです。

こうした試算から、需要の定着が図られる開業4年目の運営収支は約1・3億円の黒字となり、開業前経費によって生じた

問 LRTにはいこう乗ることができないの？

答 町内には4箇所の停留場を整備します。また、芳賀町工業団地管理センター付近に自動車や一輪車、アマンド交通などからLRTへの乗り換えができる施設であるトランジットセンターの整備を予定しています。

今後、LRTの運行開始に向け、路線バスを含めた公共交通ネットワークの構築について、交通事業者や関係機関との検討を進めていきます。

問 1日当たりの目的別利用者数(人)

	通勤	通学	業務	私事	合計
平日	13,357	1,305	274	1,382	16,318
休日	2,671	131	82	2,764	5,648

● 運営収支見込み(開業4年目)

収入 年間 約9.8億円(運賃、雑収入等)

支出 年間 約8.5億円(人件費、経費、租税公課など)

累積損失は開業9年目で解消する見込みです。

問 運賃の支払いはどうするの？

答 主に交通ICカードによる支払い方法を検討しています。交通ICカードとは、LRTやバスなどの乗車券や定

将来的には、より多くの皆様に利用していただけるよう、祖母井地域への延伸も検討していきます。



▲芳賀町バスターミナル(芳賀町工業団地管理センター付近)



▲トランジットセンターのイメージ